

八王子市市民活動支援センター 令和5年度 事業報告

八王子市市民活動支援センター
センター長 岡崎 理香

支援センター事業令和5年度を振り返って（概況）

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行して、センターでの感染症対応も大幅に緩和されました。数値的には会議室は前年対比10%増、フリースペースは30%増となりました。各団体も対面での活動を積極的に行うようになって、センターも賑やかさが増してきた1年でした。

そのような中で、コロナ禍対策のために始めた支援手法が好評を得て、コロナ後でも引き続き行う有効性を感じました。例えば、すぐに効果がでる支援の講座として、しかも密にならないように定員をしばり、その代わり回数を多く開催してきた支援講座は5年度もそのスタイルを継承しました。

対面活動が増す中、団体同士や地域との連携を図るために始めたテーマ別による交流会(3回)や、出張1日センターなどの企画も好評で定着してきており、活動団体に直接、迅速に伝わるサポート事業を心がけました。

さらにコロナ禍だからこそ力をいれてきた市民活動に関する情報の発信の強化も、継続して行っています。令和4年度に引き続き、「東京たま未来メッセ」で開催した「NPOフェスティバル2023」も大盛況に終えることができました。八王子の市民活動団体の紹介や市民活動の発信に効果があったと思います。

八王子市民活動支援センターのビジョンである「私たち一人ひとりがつながって、夢をカタチにできる八王子」の実現を目指して、スタッフ一同「社会課題と市民・団体の力をつなぎ、市民が社会貢献活動に参加し、NPO・市民活動団体がチカラを発揮できるよう、様々な事業に取り組みました。

1. 市民活動の促進のための施設の提供に関する事業

(1) 施設利用状況

上段:令和5年度、下段:令和4年度

交流室	活性化室	フリースペース	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	メール相談
857	816	1497	193	59	177	333	57	1132	1
796	753	1142	237	63	164	332	47	1408	4

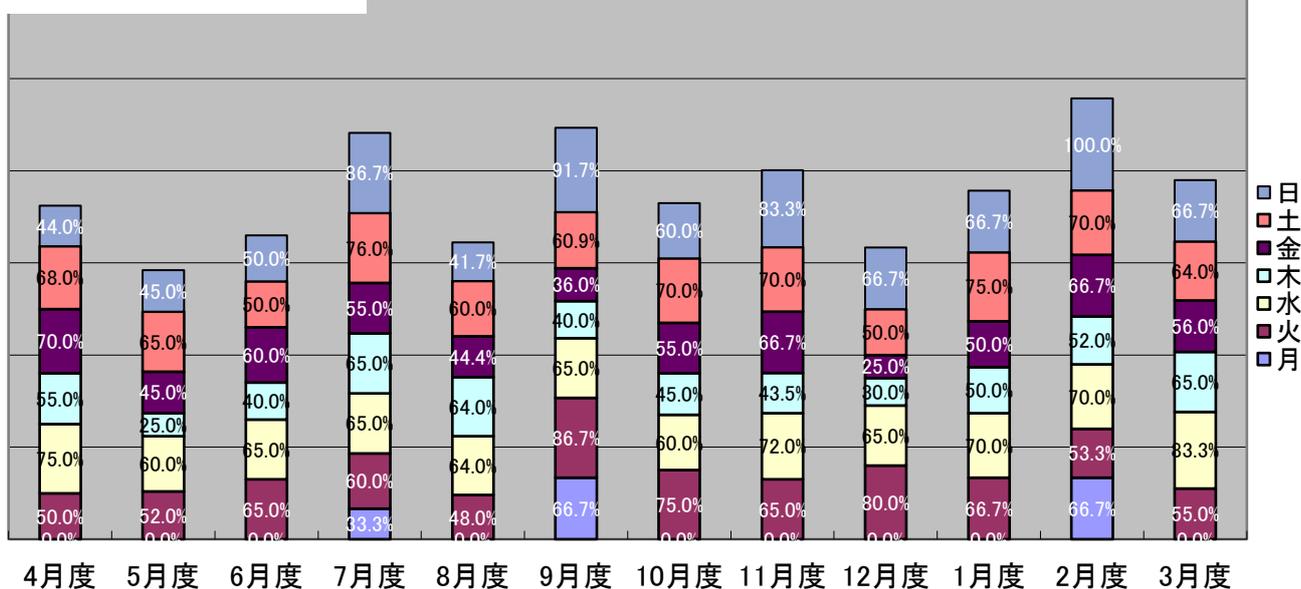
令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行して、感染症対策が緩和されたこともあり、令和4年度に比較して会議室、フリースペースとも利用が増えました。対面での相談件数も若干ではありますが増加しました。各団体、個人の活動もコロナ前に戻り、対面での活動が増えています。感染症対策としてコロナ後も利用者には、検温、手指の消毒の協力をお願いしましたが、この対応には肯定的に協力してくれる人が大半でした。

課題としては、17時からの夜間時間帯の利用率がなかなか上がらないことですが、この時間帯にセンターのイベントを予定するなど、対策を講じていきたいと思っています。

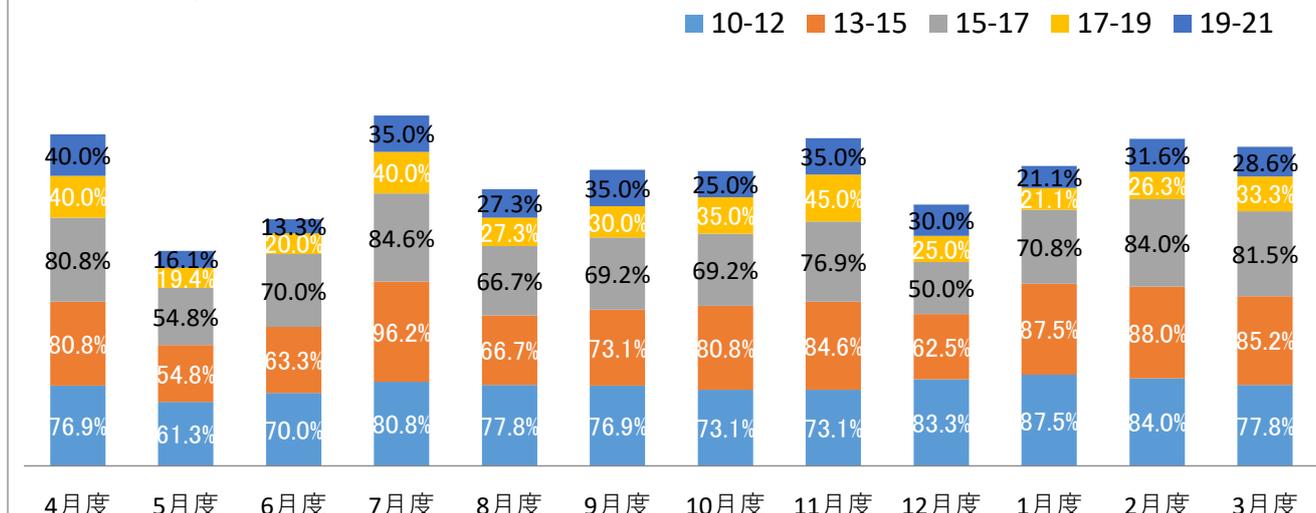
会議室利用状況（年間）

月	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	フリースペース	電話相談	電話他	メール相談		活性化室	月開館日数(A)	利用可能区分会議室ごま数(B)	実利用会議室ごま数(C)	会議室利用率(C/B)	センター無利用日数(D)	実利用日数(E=A-D)	利用日数率(E/A)	利用団体数	利用者数
4月度	32	7	11	30	125	0	118	0		69	26	118	78	66.1%	0	26	100.0%	39	531
5月度	4	5	12	24	109	15	70	1		59	26	155	64	41.3%	0	26	100.0%	35	481
6月度	1	5	23	14	127	10	79	0		81	26	150	71	47.3%	0	26	100.0%	34	507
7月度	15	5	16	32	157	4	116	0		79	26	125	79	63.2%	0	26	100.0%	39	614
8月度	4	5	19	16	110	0	106	0		64	27	125	69	55.2%	3	24	88.9%	40	503
9月度	25	3	7	11	89	3	55	0		66	26	118	70	59.3%	1	25	96.2%	35	477
10月度	5	4	10	43	105	3	104	0		64	26	118	70	59.3%	0	26	100.0%	39	477
11月度	28	4	22	27	187	4	110	0		62	26	118	77	65.3%	1	25	96.2%	41	501
12月度	16	6	16	24	129	4	84	0		68	24	112	58	51.8%	0	24	100.0%	28	372
1月度	26	2	9	51	124	4	108	0		61	24	110	67	60.9%	1	23	95.8%	67	468
2月度	14	7	20	26	123	7	78	0		67	25	113	75	66.4%	0	25	100.0%	40	552
3月度	23	6	12	35	112	3	104	0		76	27	123	79	64.2%	0	27	100.0%	41	594
計	193	59	177	333	1497	57	1132	1		816	309	1485	857	57.7%	6	303	98.1%	478	6077

会議室利用状況（曜日別）



会議室利用状況（時間別）



(2) 市民活動を支援する環境づくり

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、それに伴い利用者が前年度に比べても増加したことにより、今まで以上に安全に気持ちよく利用できる空間づくりを心掛けました。(検温、手指消毒の継続協力、椅子・机の消毒など)

また、市民活動団体の情報を取りやすくするために、チラシラックやカウンターラックを整えとともに、自由に情報を検索できるようにするため、フリースペース内に貸し出しパソコンを設置しています。

館内掲示に関しては前年同様、季節を感じるディスプレイにするなど、利用が楽しく居心地よくなる工夫を施しました。今まで手書きだった会議室利用団体の表示をデジタル表示にしました。来年度はホームページから会議室を予約できるようにします。

【課題と評価】

利用者満足度調査の結果として、センター利用の多くは会議室利用ですが会議室・フリースペース利用の満足度は95%と高い評価を受けました。特に評価すべきは、スタッフの対応への満足度が99.5%ということです。今後も利用する方々に、満足してもらえるセンター環境をつくるとともに、職員も引き続き市民活動支援をするために必要な能力や経験を研鑽していき、適切な対応に備えていきます。

2. 市民活動を行う者、市民、事業者、市及び地域の相互の連携並びに交流の促進に関する事業 (地域・団体連携交流事業)

(1) はちおうじNPOフェスティバル

八王子で活動するNPOを紹介・発信して八王子の市民活動を知ってもらおうと同時に、市民との交流の場として多くの市民に市民活動に興味をもってもらい、市民活動のすそ野が広がるように毎年開催しています。

日時	テーマ・内容	参加者	会場
9月30日 (土)	はちおうじNPOフェスティバル2023 ～八王子で活躍する市民活動団体が大集合！ 魅力あふれるNPOの活動にふれよう！～ ・展示 ・体験(ワークショップ) ・物販 ・フードトラック ・ステージパフォーマンス ・大学コンソーシアム八王子・12大学のパネル展示 ・市民活動団体と大学生の交流座談会 (交流スペース)	ブース出展 53団体 ステージ発表 12団体 来場者 約2000名 ボランティア 71名 (学生64名)	東京たま未来メッセ 展示場(A～D)

【課題と評価】

令和4年10月にオープンした東京都立多摩産業交流センター「東京たま未来メッセ」にて昨年に引き続き開催しました。新しく綺麗で天候に左右されない会場は出展参加団体、来場者ともに好評で、関係者含め、2000名以上の参加者で賑わいました。NPOフェスティバルの名前のとおり、NPO(市民活動)団体のお祭りとして、団体も市民もともに一日楽しんで交流できた会となりました。また、多くの学生ボランティアが参加し手伝ってくれたことは、若い世代に市民活動に興味をもってもらおう契機になったと思います。アンケートで10

を最高とする満足度を尋ねたところ、7, 8, 9が全体の67%を占め、満点の10も20%でした。課題としては、①会場の費用が高額であること、②ステージの音が騒々しいとの苦情や感想が寄せられ、アンケートでもステージ部門について「とても良かった」「良かった」が39%と評価が低かったことです。ステージパフォーマンスの方法について検討が必要です。

(2) 交流会

協働の場づくりのための市民活動団体の交流会は、団体同士の横の連携だけでなく、行政や公共的性質を持った組織にも呼び掛け、興味のある市民も募り、テーマ別・分野別等の様々な視点から開催しています。2023年度はテーマ別(子育て・防災・多世代の地域づくり)に3回開催しました。

日程	テーマ・内容	定員 参加	会場	担当
7月9日 (日)	「子育てをみんなで支えるまちづくり」	30名 34名	学園都市センター ギャラリーホール	力石
8月26日 (土)	「防災でつながろう ～だれもが安心できるため」	30名 32名	学園都市センター ギャラリーホール	力石
2月12日 (月・祝)	「誰もが豊かに暮らし続けられる地域づくり」	30名 34名	学園都市センター ギャラリーホール	力石

【課題と評価】

参加者からは、分野を超えた意見交換の場は少なく、「テーマ」(課題等)に沿った交流会は意見交換とつながりのきっかけとなっていて、開催要望が多い。また、既に活動している人に加えて、テーマに興味がある市民やこれから活動したい方々も参加して、多世代多分野の意見交換会となっています。交流会をきっかけに団体設立した方、参加した団体に入会した方、連携して活動を始めた団体もいます。

2024年度は、今まで交流会で掘り出された課題と当センターを利用している団体の方々からいただいた要望をもとに、課題解決実現のため、連携が交流会からはじまるようにしていきたいと思います。来年度はもう一度開催してほしいと要望があった「子育てをみんなで支える」と「みんなが参加できる地域づくり」をテーマに深入りした交流会を目指します。また、地域によって課題等が異なり、地域別で意見交換の場を希望する方々も多いため、来年度に各地域で開催する予定の「八王子市市民活動支援センター1日出張」の際にミニ地域交流会を実施することにしました。

(3) センター1日出張

市民活動のより一層の広がりとして市民活動支援センターの周知を目的とし、中央地域以外で1日出張を実施し、市内の様々なところで活動する団体へセンターの周知と市民活動の掘り起こしを行っています。

日程	地区・内容
5月20日	北部地域 来場:石川子ども食堂・八王子まるごとサポートセンター・高齢者あんしん相談センター 石川・北部地区環境市民会議・社会福祉と介護支援専門員、その他一般の人 高齢者あんしん相談センターとまるごとサポートセンターは今後センターと情報共有していくことになった。

10月6日	<p>西南部地域 来場:八王子市栄養士会・壱拾百千万の会・団地応援隊(キッチンくら)・高齢者安心相談センターめじろなど</p> <p>3団体が地域活性化のため、長期的に連携した企画の可能性について話し合うこととなった。2団体(障害者・高齢者)が連携し、イベントの共同開催について話し合うこととなった。高齢者あんしん相談センターは情報共有・情報収集のためにオブザーバーとして参加。はちコミねっと・ファンD・地域連携の実績につながった。</p>
1月14日	<p>東部地域 来場:上映集団ハイロ・ほんふわ CLUB・南大沢コミュニティネットワーク・個人(これから市民活動に関わりたい方)</p> <p>団体の情報更新 1件・活動相談 個人1件 団体2件・活動紹介 2件・はちコミねっと 2件・Line グループツールミニ講座 3名・はちコミねっとミニ講座 2名・他団体へつながり 2件・ゆめおりファンD説明 3件</p>

【課題と評価】

2023年度は3回センターの1日出張を実施し、来場した人には満足してもらえたが、来場者の数は伸び悩み、思うように集客はできませんでした。

課題として会場選びの難しさがあります。地域が広いためその地域内でもある人には便利だが、ある人には不便ということがある。このような地域では、可能な限り、中間で行きやすい場所を選ぶようにし、出来ない場合、順番に地域まわりをするようにします。

もう一つの課題は、団体や地域活動の中で、長年継続してやっている方々がその現状に満足し、特に連携等を求めないことや、そのエリア内でこじんまりと活動すれば良いと考えていることです。センターまで来られないので、登録のメリットを感じない方々もいます。皆さまにセンター登録・情報共有や横のつながりのメリットなどを伝えるようにします。

まだまだセンターのことを知らない団体と個人の方々が大量にいるため、今年度は市民活動支援センターの周知に力を入れ、皆さまの要望に応えるようにしたいと思います。要望された地域での意見交換会(ミニ交流会)を実施し、各地域での連携のサポートをしながら、各団体のニーズを聞き、市民活動のすそ野の広がりを図っていきます。

(4)NPO 八王子会議

日時	テーマ・内容	参加者	会場
3月20日 (水・祝) 13:00～ 16:45	<p>NPO と多様な主体との共創 ～みんなで担うまちづくり～</p> <p>・基調講演 「多様な主体との共創で実現する市民社会」 山岡 義典 (NPO 法人市民社会創造ファンド理事長)</p> <p>・セッション</p> <p>① これまでとこれからの協働(行政との協働) 浅野里恵子(八王子子ども劇場) 木内基容子(前副市長)</p> <p>② コミュニティをつくる NPO 活動 田所 喬(NPO 法人エヌピーオー・フュージョン長池) 前原 教久(NPO 法人小津倶楽部)</p>	<p>一般40 登壇者5 スタッフ8</p> <p>計53名</p>	東京たま未来メッセ 第1会議室

	③ 円卓会議 オープンディスカッション ④ まとめと「NPO 八王子会議 2024 宣言」 ・進行 岡崎理香		
--	--	--	--

【課題と評価】

この事業では「行政と NPO との協働のあり方に関する基本方針」を策定した 20 数年前の当時を振り返りながら、世代や立場を超えて未来に向けた「協働」、「共創」のあり方を考えていき、副題とした「みんなで担うまちづくり」を意識した、多様な主体との共創のあり方を考える場として企画しました。

NPO 関係者、市民、行政関係者等さまざまな立場の方が参加し、基調講演として山岡氏の日本の NPO 活動の 20 年余りの経緯等を聞き、セッション1、2では八王子市内の市民活動の過去から現在までの状況を聞くことができました。セッション3では円卓会議形式で地域の課題解決や感想等の意見が出て、NPO 八王子会議 2024 宣言「多様な主体との共創で実現する市民社会」を採択し終了しました。

終了後は参加者同士の名刺交換等、地域での横のつながりのきっかけづくりともなりました。

3. 市民活動に係る情報の収集及び提供に関する事業

(1) 広報紙「SUPPORT802」について

本年度制作した広報紙の概要は以下の通りです。

発行号数	発行日	特集記事【取材団体】	発行部数
第 114 号	令和 5 年 5 月	「一日一笑」「一笑一若」 ～ユーモアスピーチの会八王子～	5,000 部
第 115 号	令和 5 年 7 月	みんなで支える 子育てって、あったかい 一般社団法人 子ども食堂カフェ北野	5,000 部
第 116 号	令和 5 年 9 月	中心街から離れた一軒の空き家 そこは、みんなが集まる「拠点」になった ～地域資源を活用した「NPO 法人 恩方ベース」のとりくみ	5,000 部
第 117 号	令和 5 年 11 月	桑都文化を、語り継ぐ ～都内唯一の養蚕農家・八王子長田養蚕～	5,000 部
第 118 号	令和 6 年 1 月	2024 謹賀新年 2024 年もよろしくお祈りします。	5,000 部
第 119 号	令和 6 年 3 月	いまこそ「プロボノ」 YES/NO アンケートで知るプロボノ適正チェック	5,000 部

主な配布先:センター登録団体、協議会会員、八王子市関係所管、市内公共施設、市内郵便局、中間支援団体、八王子市商工会議所、八王子まち・なか休憩所、市内 NPO 団体、配布希望町会・自治会、配布希望大学、その他(八王子センター元気、八王子市レクリエーション協会、紙面掲載団体)、西武信用金庫、多摩信用金庫、市内イトーヨーカドー

【課題と評価】

令和5年度はコロナ禍を終え、市民活動もそれぞれの団体毎に工夫しながら活動を始めました。広報での特集は現在の希薄になった人々のつながりに対して自分たちの視点から様々なアプローチをしている団体や、八王子に残されている養蚕農家を紹介しました。

広報紙 SUPPORT802 は活字では伝えきれない情報や活動を QR コードで載せ、動画で見ていただくことも

増えました。広報紙の4ページの助成金情報やイベント情報にもQRコードを取り入れて、「はちコミねっと」の各ページにリンクさせ、最新の情報を入手をやすくしました。また、広報紙 SUPPORT802 のみならず、メールマガジンや Facebook 等で支援センターイベントを紹介しました。

(2) メールマガジン「SUPPORT802 だより」

号数	配信日	主な内容
No.171	4/12	*巻頭言:「コロナ禍を越えて」 *「八王子 NPO マニュアル【改訂版】
No.172	5/11	*巻頭言:「新スタッフ自己紹介」 *「はちコミねっと」個別講習 ほか *第 196 回アクティブ市民塾:まほうの駄菓子屋「よってって」
No.173	6/13	*巻頭言 :リーダーシップの型も変わって・・・ *「 はちコミねっと」新システム*交流会【子育てをみんなで支えるまちづくり】 ほか
No.174	7/11	*巻頭言: センターに百合の花が一輪、それは・・・ *アクティブ市民塾 197 回八王子つばめ塾 * はちおうじ NPO フェスティバル 2023 ボランティア募集
No.175	8/10	*巻頭言:「地球沸騰の時代、SDGs カードゲームで子供たちと未来の八王子を予測」 *交流会:「防災でつながろう～だれもが安心できるため」 *「NPO パワーアップ講座」全 6 回 ほか
No.176	9/07	*巻頭言「旧保健所跡地に広場の整備が進み 10 月完成予定」 *はちおうじ NPO フェスティバル 2023 開催 *八王子市民活動支援センター出張西南地区
No.177	10/11	*巻頭言:「9月 30 日開催された NPO フェスティバル」 *「はちコミねっと」個別講習 ほか *「市民活動支援講座【市民活動情報発信！思いを伝える広報】
No.178	11/09	*巻頭言:「八王子いちじょう祭り」開催日迫る *第 199 回アクティブ市民塾【ノルディックウォーク in 綾南公園】 *NPO パワーアップ講座 ほか
No.179	12/07	*巻頭言:2023 年も終わりを迎えました。 *「はちコミねっと」個別講習 *支援講座【グループウェアを活用し、団体内部の情報を共有しよう】 ほか *NPO パワーアップ講座 第 5 回ほか
No.180	1/18	*巻頭言:元旦から大災害に。今こそ連帯のチカラを・・・ *2023NPO パワーアップ講座第 6 回【これが八王子のプロボノだ】
No.181	2/07	*巻頭言:「新年早々のイベントを終え新たな気持ちでスタートを」 *アクティブ市民塾【ミス・シャーロックホームズの憂鬱】観客参加型演劇 *交流会「誰もが心豊かに暮らし続けられる地域づくり」
No.182	3/06	*巻頭言:「やはり 3 月は新しい始まりの季節です。」 *「はちコミねっと」講習会 *第10回 NPO 八王子会議「NPO と多様な主体との共創 みんなで担うまちづくり」 *アクティブ市民塾【生きるためのエンディングノート】 *相談業務*助成金情報 ほか

【評価と課題】

メルマガは月一で発信していますが、原稿提出にばらつきがあり発信日のばらつきがでてしまいました。

来年度は発信日程を区切って発信日程を絞っていきたいと思います。

メールマガジンは基本的には購読希望申込制ですが、センターFacebook に投稿したり、センター内にプリントアウトしたものを掲示して、一人でも多くの方の目に触れる機会を作り読者獲得を図りました。

ひきつづき読者をどう広げていくか、SNS を活用しながら情報手段として知名度を上げていきたいと考えます。利用者に来所の楽しみと同時に中間支援組織として有意義な情報を得られる施設づくりを図っていきたいと考えます。

(3)八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の登録・保守および活性化

年間登録団体数 :52 団体(総登録数 310 3月末)

年間登録抹消団体数 :9 団体

年間説明会・講習会参加団体数:14 団体

参加人数 :20 名

年間個別講習参加団体数 :27 団体

個別講習(随時) :56 団体

電話による講習 多数

助成金 :130 件

講座・イベント情報 :357 件

仲間募集 :27 件

活動レポート :336 件

ブログ :54 件

お知らせ :64 件

① 団体管理

- ・グループウェアで団体管理のアプリを作成し、団体の登録状況を一元管理し、スタッフが問い合わせに対応できるようにしました。(団体情報に個人情報含まず)
- ・広報紙の発送情報も上記データベースに含み、発送作業を簡略化しました。(個人情報含まず)

② 「はちコミねっと」

(1)トラブル対応

- ・スマホとタブレットで編集できない項目あり。
- ・元気 365 からのメールが受信できない。
- ・新規登録団体のマイメディアが作られない。(元気 365 調査中)
- ・承認済み記事が表示されない。(元気 365 調査中) 等

(2)元気 365 フォローアップセミナー参加 9/21

- ③ ホームページの管理システムに会議室の予約ができるシステム(管理側)を追加し、運用しました。

【課題と評価】

課題としては、「はちコミねっと」に記事を利用していない団体が多く存在しているので、利用を促す工夫が必要です。定期的に講習会、個別講習を行い、随時個別対応も行いました。そのおかげで、個別講習が定着し、その時間を狙ってセンターまでお越しになる団体もありました。

会議室予約システム(管理側)は、使いにくい部分がある為、改善が必要です。システム化により、会議室利用状況集計作業の簡略化、会議室利用団体をモニター表示することが可能になりました。

4. 市民活動に係る啓発及び人材育成に関する事業

団体の基盤、信頼性、広報力等を強化する事業及び、市民活動紹介や啓発となる事業活動を進めています。

(1) パワーアップ講座 <7回> 各10団体前後

◆方針: 市民活動団体がスキルアップする連続的な講座を行なう。また、参加団体同士の交流の場となるような開催形式にも配慮する。

◆実績: 下記内容で全6回の開催が完了した

No.	開催日	テーマ / サブテーマ	講師	参加団体数
1	8/25(金)	市民団体を立ち上げるのに必要なこと / ビジョン、ミッションと会則を考えよう	TVAC(*1)相談員 森 玲子さん	9 団体 14 名
2	9/8(金)	市民活動の運営と継続 / 持続可能な組織づくり「ぶれない軸」と 「自在の変容」のはざままで	一社エンツリー 吉田 恭子さん	11 団体 14 名
3	10/13(金)	団体にあった法人格を考えよう / さまざまな法人格の特徴、法人化について	TVAC(*1)相談員 安井 忍さん	7 団体 13 名
4	11/17(金)	みんなでつくろう「元気になる会議」 / ホワイトボード・ミーティング®を活用した話しあいの進め方	ホワイトボード ミーティング®講師 横山 弘美さん	6 団体 8 名
5	12/15(金)	団体の資金づくり / 団体の活動に必要な会費、補助金、助成金、寄付金の集め方	TVAC(*1) 統括主任 熊谷 紀良さん	14 団体 18 名
6	2024/ 1/19(金)	その「困った!」をサポートします / これが八王子のプロボノだ!	支援センター 堤さん、籾野さん	10 団体 18 名

※補足 (*1)TVAC:東京ボランティア・市民活動センターの意味

- ・会場は全てクリエイトホール第2学習室
- ・全6回通しで申し込んだ団体は、5団体(八王子市民活動協議会は含まず)

【課題と評価】

(1) 講座内容の背景

・2023年度の講座は、2022年度にセンターで受けた相談内容を分析し、市民活動を運営する上で最も多く課題になっていると想定されることをテーマとした。また講師については、従来は名の売れている講師に依頼してきたが、2023年度は市民活動の現場に近いところで実際に相談にあたっている人として、エンツリーの吉田さんや、東京ボランティア・市民活動センターの相談員に依頼する方針とした。

(2) 参加者数の減少

・2023年度の参加者数「平均」は、対2021年度で△17%、対2022年度で△29%と減少した。
・想定される原因として、①講座が魅力的と思われなかった、②Zoom参加を可としなかった、③広報活動(チラシ制作回数)が弱かったなどがある、と考える。

(3) アンケートの評価

・全6回の講座で提出いただいたアンケートは75件、このうち72件(96%)で「とても良い～良い」という高

評価をいただいた。また、アンケートのコメントでも、相談にもとづく内容で理解しやすい、具体的な事例が豊富、すぐに役立つ内容であった、グループワークで他団体との交流ができた、など好意的な意見がほとんどであった。

(4) 総括

- ・講座に参加された方からは、一定の評価をいただいた。講座の内容や講師の選択は、良かったと思う。
- ・一方、集客の工夫には課題がある。センターの会議室を使うことを前提に、参加費の値下げ、オンライン対応、チラシの発行回数、また 受講経験のある団体にも興味を持ってもらえるような、新鮮味のある講座を準備していくことなどが必要と考える。

(2) アクティブ市民塾 <6回> 各 10~40名

- ◆ 方針： 市民活動団体が講師となり、実演等も交えながら活動紹介する。参加した市民同士の交流の場とする。
- ◆ 実績： 下記内容で全6回の開催が完了した

No.	開催日	テーマ / 講師団体	会場	参加者数
1	2023/ 5/30(火)	居場所作り見学会(手作り地域サロンの訪問ツアー) / まほうのほうき	Yottete	8名
2	8/19(土)	無料学習塾訪問 八王子つばめ塾 / 認定NPO 法人八王子つばめ塾	クリエイトホール	20名
3	11/24(金)	ノルディックウォーク / 全日本ノルディックウォーク連盟 多摩地区連絡協議会	陵南公園	7名
4	12/3(日)	初冬の里山散策(宇津貫緑地を歩く) / 宇津貫緑の会	宇津貫緑地	20名
5	2024/ 2/23(日)	ミス・シャーロック・ホームズの憂鬱 / パフォーマンス集団ヨロコンデ	北野市民センター	25名
6	3/27(水)	生きるためのエンディングノート / 一般社団法人まもりすくん	長房市民センター	22名

【課題と評価】

(1) 5/30 居場所作り見学会～まほうのほうき～(参加者 8名)

- ・地域での居場所を作りたい市民や、地域サロン活動に興味のある市民に、設置のコツや実体験が伝わり、市内の他の地域でもこうしたコミュニティ活動の活性化が広がることを期待して企画した。
- 参加者の中には、すでにこうしたコミュニティ活動を始めた方や障害者向けの団体で事業を行っている、カウンセリング事業を行っている方等もいて、講師の体験をリアリティを持って受け取ることができたようだ。
- ・単なる講座ではなく、参加者同士のつながりのきっかけになり有意義な講座となった。

(2) 8/19 無料学習塾訪問～はちおうじつばめ塾～(参加者 11名)

- ・講師の小宮位之さんの熱弁に勝るとも劣らない参加者の熱意が感じられる講座となった。
- ・テーマを「無料塾を通じた 地域・社会貢献活動」と題して、設立の経緯から始まり、ご自身の体験談を織り交ぜながら、中学生が置かれている厳しい現状、高校受験の東京都の特殊な事情、そして、つばめ塾を始

めるきっかけ、理念、運営、財政など多岐にわたり、参加者の質問にも丁寧に答えていただき、活動の理念が伝わる講座となった。

(3) 11/24 ノルディックウォーキング in 陵南公園(参加者 9 名)

・全日本ノルディック・ウォーク連盟 多摩地区連絡協議会を講師とし、陵南公園で初心者向けに十分な準備体操を行い、ポールを使用することで、身体が安定し、無理せずに負荷のかかる体操が出来た。ポールを使った正しいフォームでの歩き方を学び、高低差のある園内をウォーキングした。ポールを使うメリットを感じられた。

(4) 12/3 宇津貫緑地を歩く(参加者 17 名)

・天候にも恵まれ、宇津貫みどりの会を講師に、2 班に分けて緑地の散策を行った。草花の名前やなぜここに生えているかなど、見過ごしがちな自然の素顔を知ることができた。その後ログハウスに戻り、開発されていく宇津貫地区の 50 年前からの写真を見ながら、なぜ会がこの活動を始めたか、当時の苦労や、ブルドーザーで変わっていく環境などに宇津貫の方々の自然保護への取り組みや、里山を守り続けていく難しさを知った。

(5) 2/23 ミス・シャーロック・ホームズの憂鬱(参加者 25 名)

・当日予約なしで参加された方 5 名も含め 25 名もの方々に参加いただいた。観客参加型演劇として「ミス・シャーロック・ホームズの憂鬱」を上演しました。

・パフォーマンス集団ヨロコンデさんの役者さん 4 名だけで演じられたシーン 1。それに続くシーン 2 からシーン 8 までは、客席から漢字も勉強前のお子さんから高齢者まで、8 名もの立候補者が次々に役になりきって参加した。役者と観客が一体となった会場は大変盛り上がり、ヨロコンデさんに入会希望された方が 3 名、4 月に実施予定の講演観覧希望者も 1 名出て、参加者と団体をつなぐことが出来ました。

(6) 生きるためのエンディングノート(参加者 22 名)

・参加者は 50～80 代まで 22 名。内訳、女性 19 名、男性 3 名、登録団体の方や施設職員、と多岐にわたっていました。情報誌「よみっこ」から 3 名(申込は 5 名)があり、改めて情報誌の影響を感じた。

・大曲さんの自己紹介から始まり、エンディングノートについての概要説明、書き方や保管場所、誰に開示するのか等、具体例を示しながら進行していきました。

・参加者の問題意識も高く、講座中も多くの質問が寄せられた。終了後の個別質問も列ができるほどの盛況で熱気あるアクティブ市民塾となりました。

3. 支援講座 <8 回>

方針：NPO や市民活動団体向けに、市民活動の支援となる講座を行なう。

No.	開催日	テーマ	会場	参加者	講師
1	2023/ 5/19(金)	Canva をつかった「簡単チラシの作り方」	支援センター	11 名	鈴木 佐登美
2	6/2(金)	いまさら聞けない「ZOOM」徹底解説！	同上	初:6 名 中:7 名	初:雨宮 達也 中:大村 厚夫
3	6/18(日)	ホームページ作成支援 <前半> ～活動目的に合った情報発信～	同上	8 団体 14 名	堤 直樹 篠野貞夫 プロボノワーカー

4	7/2(日)	ホームページ作成支援〈後半〉 ～活動目的に合った情報発信～	同上		堤 直樹 篠野 貞夫 プロボノワーカー
5	8/5(土)	Google フォームを使ってみよう	同上	10名	望月香里 上野 由紀子
6	10/20(金)	市民活動発信！ 想いを伝える広報	同上	8名	惟村 香里
7	12/13(水)	グループウェアを活用し、団体内部の情報を共有しよう！	同上	8名	堤 直樹 プロボノワーカー
8	2024/ 1/28(日)	「動画」で伝える！あなたの活動 ～「VLLO」で学ぶはじめての動画編集～	同上	4名	日比野 勲

【課題と評価】

(1) Canva をつかった「簡単チラシの作り方」

- ・「独学で Canva を学んで作っていたので、対面で聞いてよかった」、「ずっと手探りで作っていたので色々謎が解けました」、「専門的なことまで深く理解出来ました」などの受講者の声をいただきました。
- ・講義内で使い方のバリエーションを説明することが出来た。また、印刷するときの不安などにも答えることが出来、受講者にとって有益な時間になったと思います。

(2) いまさら聞けない「ZOOM」徹底解説！

- ・アンケート結果は「とても良い～良い:12」、「やや不満:1」。いただいた御意見には「自身の問題ですが、理解できなかった」、「ついていけないところがあった」、「ワイガヤで楽しかった」、「ホストの基本がわかった」などがありました。
- ・初級:持参機種不問で開催。センターのWi-Fi接続に講座時間の3/4を費やし、1/4がZoomとなったが、和気 あいあいの雰囲気と、それぞれの疑問や不安が解決できたと、満足をしていただいた。
- ・中級:ホスト向けの講座として準備していたが、参加者はZoom初心者と、ホストを学びたい方が混在する構成となった。そこで、基本的な操作から説明したため、時間が不足しホストの実習を十分に行うことができなかった。Zoomの中級講座は、事前にZoomのアプリをインストールするための予備講座を行うなど、講座前の備えが必要と思う。

(3) (4) ホームページ作成支援

- ・講師役のプロボノワーカーから、事前に提示して頂いていたGoogleサイトの見本を一通り説明した頂いたあと、団体各々が実際にホームページの作成作業に入りました。全二回だけで完成させるのは困難なもの、参加した8団体とも何らかの形はでき、満足した様子でした。
- ・参加者同士の意見も飛び交うなど、予想以上に盛り上がりました。

(5) Google フォームを使ってみよう

- ・参加者のパソコンスキルが高かったため、進行がスムーズで良かった。
- ・アンケートの結果は、満足度「とても良い」が6/6、理解度「よくわかった」が4/6、「ある程度わかった」が2/6となっている。

(7) グループウェアを活用し、団体内部の情報を共有しよう！

・IT コンサルタントのプロボノワーカー(ゆめおりファンド・プロボノ登録者)が講師となり、8団体が受講しアンケート結果も良好でした。各種グループウェアの紹介と、実際にグループウェア(サークルスクエア)「八王子プロボノ」を体験しました

(8)「動画」で伝える!あなたの活動

・「動画編集に挑戦しようとして挫折した経験のある方」が申し込みをし、講座の中で感覚を掴んでいただいた。VLLO でのシンプルな操作性に、「これなら自分でもできる!」という手応えを持っていただけた様子。
 ・一方、VLLO でこれまでは無料機能に含まれていた「動画素材の画と音声の分離」機能が有料機能に移行してしまい、VLLO の優位性の一つが失われてしまった。チラシづくりの CANVA など無料アプリを利用する講座を多く開催しているが、最近無料機能が有料に移行するものが多く、今後の対応が必要である。

4. 実践講座 <1回> 50~100名

◆ 方針: 市民向けに、NPOや市民活動の普及や啓発となるような講座を行なう。

No.	開催日	テーマ / 講師	会場	参加者
1	2023/ 7/29(土) 夏休み企画	SDGs カードゲームで 未来の八王子を体験! ~みんなで SDGs を活かした未来づくりに挑戦しよう! ~ / 講師:(一社)サステイナブルコミュニティ 共創機構 代表理事 横山 泰治さん	学園都市センター ギャラリーホール	17名 小学生: 9名

【課題と評価】

・夏休み企画として、小中学生も対象に定員 40 名に設定したが、参加者が思ったより集まらなかった。そのなかで参加してくれた小学生 9 名は、自分たちのゲームでの行動が未来のまちや暮らしにどう影響を与えられるかを素早く理解し、行動をしていた。ゲームをとおしてのシミュレーションであったが、自分たちのまちの未来は自分たちの行動で変えられるということを考える良い契機になったと思う。

・SDGs のことが知れてよかった、年齢によらず交流を深められる良い企画だ、ゲームで SDGs を楽しく学ぶことができた、いままでの考えが覆され、環境を良くするために何をしたらよいのか考えるきっかけになったとの参加者の声が聞かれた。

5. ゆめおりファンド事業

(1) 団体情報開示支援

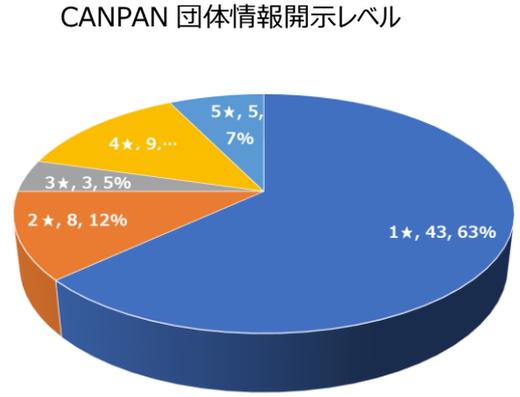
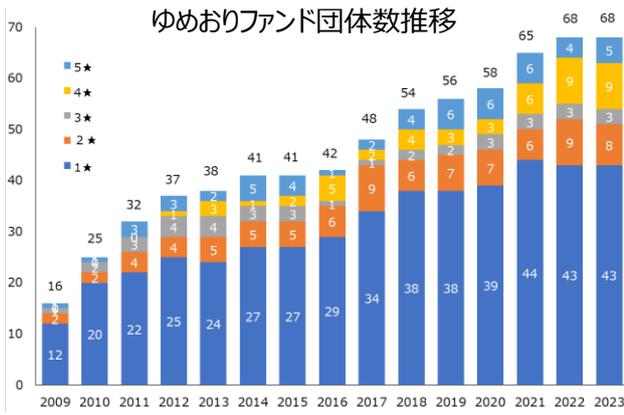
1)ゆめおりファンド認証団体・登録団体

・ゆめおりファンド発足以降の認証・登録団体は次表の通りです。

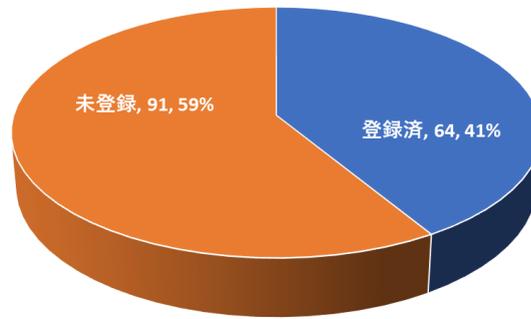
- ・ 新規登録団体は、なぎのは、つながろう会 Multicultural Japan、といろ、の3団体です。
- ・ 活動を中止した団体もあり、全体に変化はなく 68 団体となっています。
- ・ 団体情報開示レベルは次図の通りです。

認証団体(CANPAN 団体情報開示度が 3★~5★):17団体(25%)

登録団体(CANPAN 団体情報開示度が 1★、2★):51団体(75%)



- また次図の通り、八王子市内の CANPAN 登録団体155団体のうちゆめおりファンド登録団体は64団体(主たる事業所が八王子市以外の4団体を除く)、41%を占めています。
- CANPAN 開示レベル 3★以上の17団体のうちゆめおりファンド認証団体は15団体です。



八王子 CANPAN とゆめおりファンド登録団体

ゆめおりファンド認証・登録団体:64団体(41%)

ゆめおりファンド未登録団体:91団体(59%)

1) 課題と今後の進め方

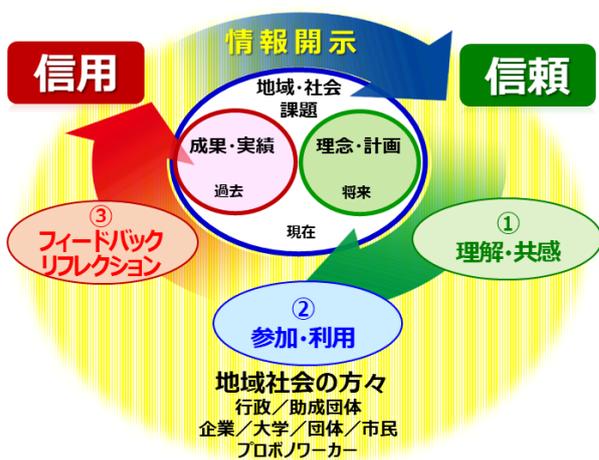
- ・ はちコミねっと登録時に登録希望団体は増えているものの、CAPAN 登録まで進められていない。次年度は計画的にきめ細かいケアを行い登録支援します。
- ・ 団体運営の透明性を高め、関連するセクターとの連携を促進したり、助成金支援団体等支援者から信頼を得るために CANPAN 登録をお願いしています。次図は、CANPAN 情報開示レベル毎に最終更新状況を表したものです。

情報開示レベル	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
5★															4	1
4★											1	1	1	2	4	
3★													2		1	
2★	1	1	1	1		2	1	1								
1★	9				1	3	3	1	3	2	3	3	3	4	8	

認証団体は定期更新している

スタートアップ団体 最初の登録、更新

- ・ 開示レベル、年度ごとに黒丸内の数字が団体数を表しています。
 - 第1象限: 認証団体は定期的に更新していることが分かります
 - 第3象限: 36団体が最新更新3年以上経過しています
 - 既に自立・自律している団体。ホームページ、SNS 等を活用しているので CANPAN は不要。事業年度終了時に事業報告書を提出しているので CANPAN 更新は2度手間となりその時間が捻出できない等、更新がむずかしい理由があるようです。
 - 第4象限: スタートアップ3団体を含め8団体が登録・更新しています。
- ・ 今年度、10を超える団体がゆめおりファンド登録を希望していましたが、CANPAN 登録に至らず支援不足を実感しています。
- ・ CANPAN は年に1回の更新を推奨し、最新更新3年以上の団体は通常公開しておりません(ワンクリックが必要です。最新情報にアクセスできないのは利用者にとり不便と言えます)。
- ・ 次年度は、はちコミネットとの連携を図り、より利用しやすいように CANPAN 登録とゆめおりファンド利用登録の内容を見直します。
- ・ 団体の情報開示を支援するため CANPAN 登録の推奨を継続します。
- ・ 認証団体より、ゆめおり認証マークを団体のチラシに使用したいとの依頼を受け、CANPAN を活用している他の中間支援団体に確認した結果、趣旨に賛成との意見はあるものの実施例はありませんでした。しかし、ゆめお認証マークは団体の信頼性の証として発行していること、また、広く団体や市民の方々にゆめおりファンドと認証マークの意義を理解し共有していただくことが大切と、使用基準を定め活用していただくこととしました。



情報開示と信用・信頼の循環

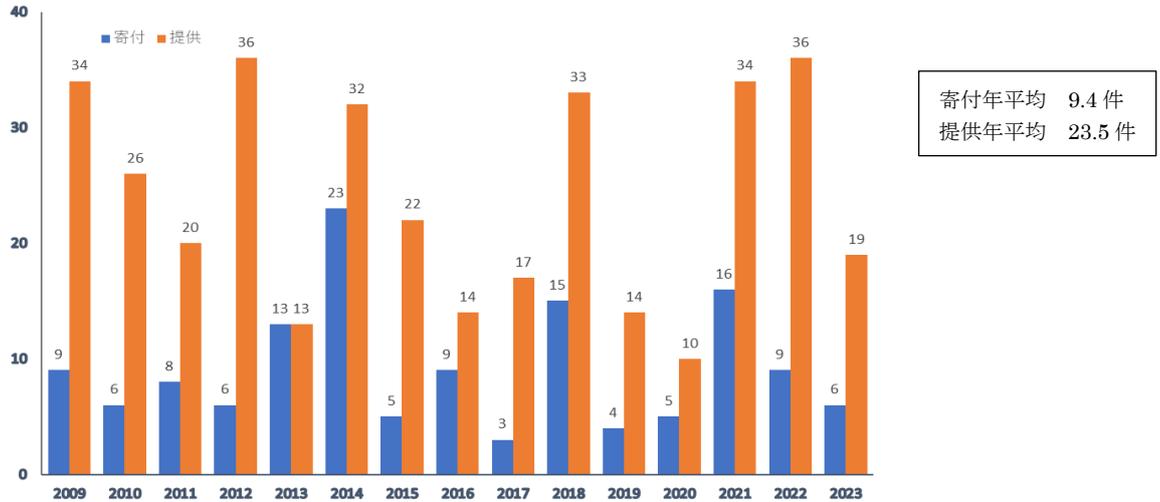


(2) 物品の支援

1) 寄付・提供件数の推移

- 2009年度から2023年度までの物品寄付・提供件数の推移を次図に示します。

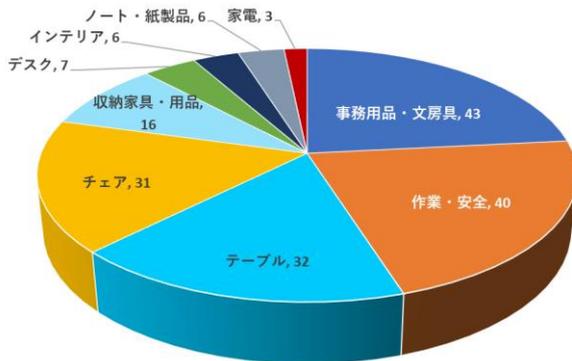
寄付・提供件数の推移



- 2023年度の寄付件数は6件と平均を下回りますが、コーユーレンタ様のご紹介で株式会社アズ企画設計様から団体ニーズにフィットした事務室什器などを寄付いただき、14団体(累計19回)に提供することができました。

2) 寄付物品

- 次図・表の物品を寄付いただきました。



寄付物品概要

分類	数量	内容
事務用品・文房具	43	レタートレイ、ホワイトボード、NT カッター、PC周り掃除ブラシ、鉛筆立て、机上札、クリップボード、クラムクリップ、ステイブル、バインダークリップ、ハサミ、ファイル立て、ホッチキス、レターケース、ビニールテープ、ブックスタンド
作業・安全	40	子ども用ヘルメット
テーブル	32	フォールディングテーブル、四角テーブル・チェアセット、作業用テーブル・チェアセット、丸テーブル
チェア	31	スタッキングチェア、OAチェア、会議用チェア
収納家具・用品	16	鋼製管理棚、ロッカー、コートハンガー、木製棚、2段書庫
デスク	7	脇机、Lowタイプ脇机
インテリア	6	絵(額付き)、丸時計
ノート・紙製品	6	A4 コピー用紙(500枚入り)、A3 厚紙コピー用紙、2024年手帳・カレンダー
家電	3	電子レンジ、バスタ、コンセント
筆記用具	多数	12色カラーマーカー、ホワイトボード用マーカー、ボールペン
ファイル	多数	クリアフォルダー、プレゼンファイル、A5リングファイル、クリアファイル
その他	多数	子ども用バイオリン、ポット

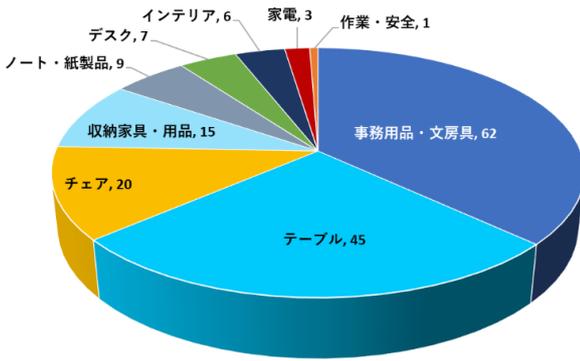
寄付物品内容

- 五大システム:フォールディングテーブル
- 市役所:レタートレイ
- 個人:子ども用バイオリン
- 株式会社アズ企画設計:事務・文房具、テーブル、チェア、収納家具・用品、ノート・紙製品、デスク、インテリア、家電、その他(次表参照)
- 二十歳のピロリ菌チェックを推進する会:OA チェア、脇机、四角テーブル
- 株式会社ジャノメ:2024 年手帳・カレンダー

3) 提供物品

- ・ 次図・表の物品を提供いたしました。

提供物品概要



提供物品内容

分類	数量	内容
事務用品・文房具	62	レタートレイ、ホワイトボード、NT カッター、PC周り掃除ブラシ、鉛筆立て、机上札、クリップボード、クラムクリップ、ステイブル、バインダークリップ、ハサミ、ファイル立て、ホッチキス、レターケース、ビニールテープ
テーブル	45	フォールディングテーブル、四角テーブル・チェアセット、作業用テーブル・チェアセット
チェア	20	スタッキングチェア、OAチェア
収納家具・用品	15	鋼製管理棚、ロッカー、コートハンガー、エレクターシェルフ、木製棚
ノート・紙製品	9	A4 コピー用紙 (500枚入り)、A3 厚紙コピー用紙、2024年手帳・カレンダー、ドラフティングブック
デスク	7	脇机、LOWタイプ脇机
インテリア	6	絵 (額付き)、丸時計
家電	3	電子レンジ、ハリスタ、コンセント
作業・安全	1	立体マスク
筆記用具	多数	12色カラーマーカー、ホワイトボード用マーカー、ボールペン
ファイル	多数	クリヤーフォルダー、プレゼンファイル、A5リングファイル、クリヤーファイル
その他	多数	子ども用バイオリン、ポット、テニスボール

提供団体(複数回提供あり)と主な提供物品は次の通りです。

- ・ 志民塾6期生の会:フォールディングテーブル
- ・ なみき福祉会:レタートレイ、ファイル、木製棚
- ・ ならはらの森なかの学舎:子ども用バイオリン、ボールペン、クリヤーホルダー、絵、クリップボード、レターケース、コンセント
- ・ 南陽台福祉センター:スタッキングチェア、丸時計、レターケース
- ・ チャイルドライフ:脇机、ホワイトボード、鋼製管理棚、四角テーブル・チェアセット、丸テーブル・チェアセット、作業テーブル・チェアセット、フォールディングテーブル
- ・ 良い子食堂:子供用ヘルメット、プレゼンファイル、NT カッター、コートハンガー、ハサミ、レターケース、コピー用紙
- ・ いきいき福祉会:ホワイトボードマーカー、ボールペン、カラーマーカー、クリップボード、バインダークリップ、ハサミ、ポット、コピー用紙、ロッカー、
- ・ はちきた SC:机上札、ファイル立て、作業テーブル・チェアセット
- ・ まもりすくん:机上札、コピー用紙
- ・ 露の会・ひのき工房:コピー用紙
- ・ CES:コートハンガー、作業テーブル・チェアセット、四角テーブル、コートハンガー
- ・ エチオピアの多国籍共同体:作業テーブル・チェアセット、OA チェア
- ・ かたつむり:OA チェア
- ・ しあわせのたね:デスク、OA チェア

4) 活用報告

- 2022 年度にコーユーレンティア様の紹介で寄付いただいたインフロニア・ホールディング株式会社様、株式会社アズ企画設計様に提供物品の活用状況を報告いたしました。

(3) 人財支援(プロボノ)

8年目となった人財支援事業は、ここ2～3年同様、低調な団体ニーズの引出しを志向した活動を展開しました。

(1) 他講座との連携

一事業としての参加呼びかけ効果が極めて薄いことが明白になっています。今年度も支援センター他部署との協働事業として、次の2つの講座を実施させて頂くことができました。

1) 支援講座(「ホームページ作成支援講座」6月18日、7月2日の全二回)

日常の活動の中で相談を受けていた4団体のテーマがホームページに関わる点で共通していたこともあり、啓発事業における支援講座で採り入れて頂きました。これに対しての応募団体を含めて計8団体の参加がありました。

また、開催に至る過程で、事前ニーズ聞き取り以外にも、個々の団体へのヒヤリングにオンラインを含めて様々な形で7名のプロボノワーカーに参加いただきました。

2) NPO パワーアップ講座『その「困った！」をサポートします』1月19日(金)

当該の第6回講座として、プロボノを採り上げていただきました。他市からの視察参加もありました。

終了後のアンケートには、「人と人のネットワークの大切さが分かった」(未経験団体)、

「グループワークで話を聞いてもらう中で問題点に気づかされた」(同)、「周りに助けてあげ

たいと思う人が多いのだと気づいた」(未経験個人参加者)、「逆に自分たちも課題が見えてき

た」(経験団体)などの記載がありました。ワークショップ自体がプチプロボノ活動的な場になり、また参加したいとの声もありました。

(2) その他

東京ホームタウンプロジェクト「令和5年度シニア・プレシニア世代の社会参加促進に関するコーディネート力向上研修」9月25日(月)に参加

研修の実質的な中身は、以前からあったサービスグラントのプロボノ・ポータルサイト「GRANT」の普及版(より一層、団体よりもワーカー募集の要素)説明会でした。準備した事例は極めてローカルでしたが、川崎市や世田谷区からの応募者がファンドのプロボノワーカー登録後、当該団体の活動を実際に支援して頂きました。

■その他の人財支援活動

4月16日 中大ボラセン・開澤さん訪問

5月20日 石川市民センター出張相談会に参加

7月14日 オリンパス(神田さん)zoom 打合せ

9月17日 受講団体向けサークルスクエア説明会

9月25日 東京ホームタウンプロジェクト「令和5年度シニア・プレシニア世代の社会参加促進に関するコーディネート力向上研修(新宿)」に参加

9月27日 まもりすくん(エンディングノート助成金申請相談)、お手玉(サークルスクエア)

11月11日 とんとんむかし語り部の会アフターフォロー

11月15日 東京ホームタウンプロジェクト「令和5年度シニア・プレシニア世代の社会参加促進に関するコーディネート力向上研修座談会(オンライン)」に参加

11月19日 南大沢町会訪問(町会 LINE 回覧板の情報収集)

11月28日 市役所(広報プロモーション課)市報元旦号掲載に関わる状況説明

12月12日 広報プロモーション課訪問(インタビュー)

12月13日 支援講座(グループウェア)

- 1 月 14 日 由木中央市民センター出張相談会に参加
- 1 月 5 日 パワーアップ講座に参加
- 2 月 12 日 川崎プロボノ部イベント（SDGs カードゲーム）に参加

6. 調査研究活動

(1)施設利用者満足度調査

令和 5 年度も施設利用者満足度調査を令和 5 年 11 月～12 月に行いました。集計結果は公開情報として PDF ファイルとして支援センターホームページからダウンロードができるように設置しています。

スタッフについての対応などの満足度については「満足」と「やや満足」を合わせて 99.7%（前年は 99.5%）であり、ほぼすべての来所者が満足と答えています。また自由意見では、「明るい雰囲気」、「親切」という言葉があり、スタッフの運営姿勢が好評価を得ている結果だと思われます。センター全体の満足度は 99.3% であり、これもほぼすべての人が満足と感じていることがわかります。

詳細は別紙添付の「利用者満足度調査報告書」を参照ください。

【課題と評価】

利用者満足度調査の結果は、「満足」、「やや満足」で 99% となり、引き続き高評価をいただきました。自由記述ではスタッフの対応が良い、センターの雰囲気が明るくなった、センターを利用する方々に気持ちよく利用してもらおうとの努力が認められた形となり、スタッフのこれからの励みにもなりました。コロナ対応については消毒の緩和の意見がある一方で現在の対応を続けることを評価する方がいました。今後は、社会情勢も見据えて安全に運営していきます。

7. 市民活動に係る相談に関する事業

(1)相談対応及び専門相談

支援センター業務の大きな柱である相談業務は、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な考え方で対応しています。相談件数は 206 件となり前年の 162 件に比して 28% の増加となりました。団体や個人の市民活動に関する課題は 1 回で終わりとならないことが多く、また、その相談者の活動の多方面にわたる整備に伴走支援するため、いわばリピーターとして何度も来ていただき、さまざまなスタートアップ、設立、他団体との連携、運営、会計、法人化等と課題が発展する場合もあり、さまざまな視点、複数のセンタースタッフの立場からの助言と提案することもありました。

相談者が所属する組織形態では「市民活動団体（法人格の無い NPO）」が一番多く、全体の 42% でした。次いで「個人」、「NPO 法人」となり、八王子市内では法人格を持たずに NPO 活動を継続している団体が多いことがわかります。また前年度は統計項目として設定していませんでしたが、令和 5 年度に新たに「一般社団法人」の種別を加えたところ、全体数のうち 11% となり、公益的な法人格の中でも収益事業を行うことを前提とした「一般社団法人」が一定数存在する傾向が推察されます。

相談の目的は昨年に引き続き「団体運営」が一番多く、団体をどう進めていくか模索している相談が多くみられます。次いで「広報」となり、活動の周知や広がりを考える団体も多いようです。

※添付資料参照：「令和 5 年度相談業務まとめ」

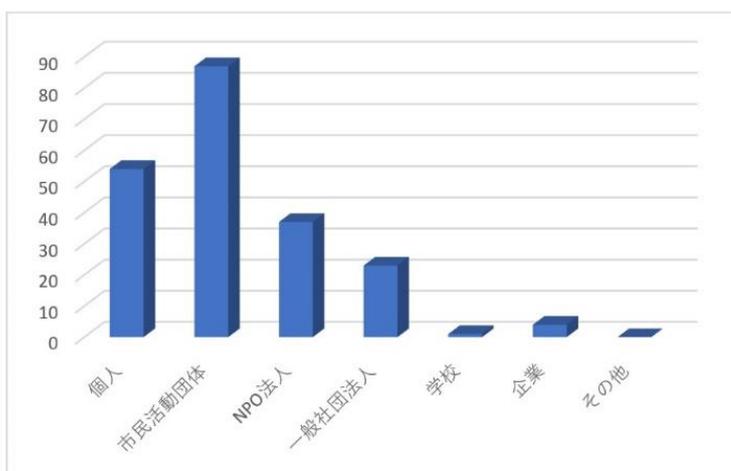
【課題と評価】

令和 5 年度も、NPO 法人設立、NPO 法人運営、団体の会計、助成金獲得や効果的な広報、他との連携等

様々な相談があり、これら一つ一つに真摯に対応しましたが、同時にスタッフの知識や能力の向上という点も課題の一つです。すべてのスタッフが相談に応じられるように、知識や経験を蓄積していく必要があります。また、NPO 活動の図書館機能を目指して図書・資料コーナーの充実を引き続き計画していきます。相談をきっかけとして当センター事業への参加やセンター登録する団体もあり、他団体との連携につなげるなど、センターのミッションの一つである「つなげる」「連携」にも貢献できました。

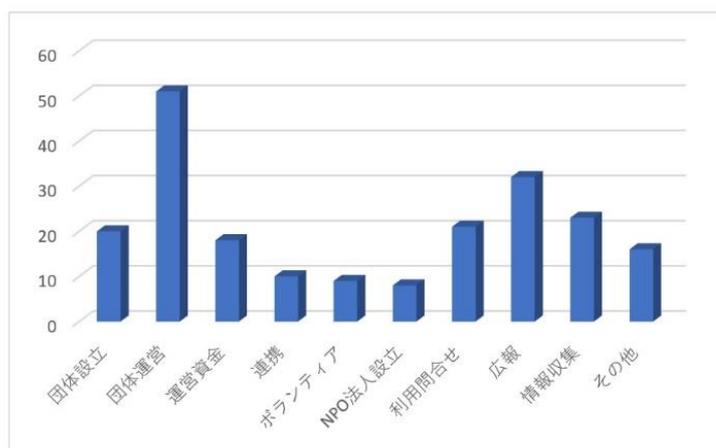
相談者の所属

個人	54
市民活動団体	87
NPO 法人	37
一般社団法人	23
学校	1
企業	4
その他	0
合計	206



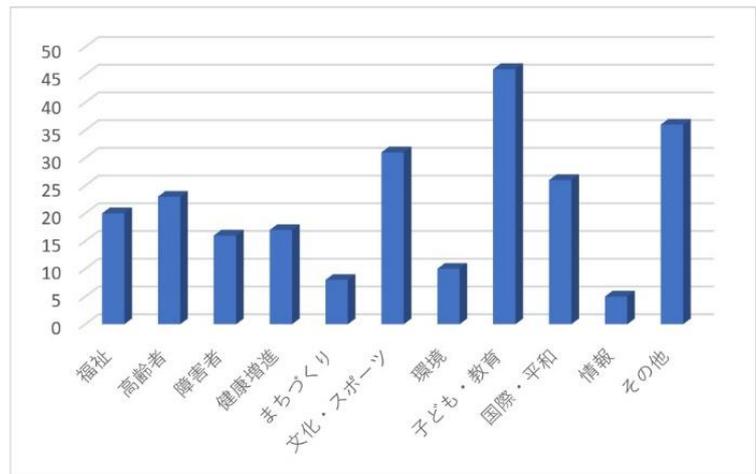
相談者の目的

団体設立	20
団体運営	51
運営資金	18
連携	10
ボランティア	9
NPO 法人設立	8
利用問合せ	21
広報	32
情報収集	23
その他	16
合計	208



相談者の活動分野

福祉	20
高齢者	23
障害者	16
健康増進	17
まちづくり	8
文化・スポーツ	31
環境	10
子ども・教育	46
国際・平和	26
情報	5
その他	36
複数含む合計	238



8. 総務関連部門

- 年間を通して文書管理規定に基づき、適正文書管理に努めました。
- 施設設備の適切な管理(付帯施設・機器・物品の管理、整備)を行いました。
- 支援センター内のルールに基づき、会計担当者が適切な経理処理(給与計算・コピー収入管理・物品購入)を行いました。
- 労務担当者が適正なスタッフ出退勤管理を行いました。
- 四半期ごとの指定管理者モニタリングにはその準備段階から、センター長、会計担当者が出席して適切な対応を行いました。
- 7月と1月に開催している「地域参加支援に関する情報交換会」に参加しました。参加団体は八王子国際協会、センター元気、社会福祉協議会、シルバー人材センター、八王子市協働推進課、八王子市民活動協議会、八王子市市民活動支援センターです。
- 7月と2月に開催された「8 市・市民活動連絡会」に参加しました。参加者は小平市、西東京市、三鷹市、調布市、日野市、府中市、町田市、八王子市の市民活動支援センターセンター長です。
- 大学コンソーシアム、大学、大学生との連携、交流を強化しました。令和5年度から八王子市民活動協議会が大学コンソーシアム八王子の加盟団体となったことで、多くの連携、協働が生まれました。特に NPO フェスティバルに大学コンソーシアムをあげての参加になったことは、連携、交流の強化につながりました。
- 大学インターンシップ及び市内中学校職場体験の受け入れは令和5年度はありませんでした。
- 支援センター視察・見学来館者の受け入れ、対応:さいたま市市民活動サポートセンター、ひの市民活動支援センター、町田市地域活動サポートオフィスから視察や見学来館があった。また、東京ボランティア・市民活動センターの新任研修プログラムの一環である「現場訪問」実習の受け入れも行ない

ました。日の出町、小平市、立川市、日野市の社会福祉協議会から新任スタッフの方々に八王子市市民活動支援センターの取り組みを説明し、実際に業務にも参加いただきました。

(11)市内のイベントへの参加・出展:令和5年度は他団体、組織のイベントへの出展はしていません。

(12)スタッフの教育研修の実施と充実(外部研修、内部研修):東京ボランティア・市民活動センター主催の研修や、外部団体による講座、研修会にスタッフの担当分野に合わせて参加しました。また、他市の市民活動支援センターに依頼されて、講座の講師にも派遣しました。

(13)市内の多様な団体やセクターとのこれまで以上の連携による新たな価値の創出(共創):あらゆる機会を捉えて、多様な団体と繋がり、連携による価値の創出につながるように活動しました。特に令和5年度は西部信用金庫の地域共創部の部長が来所し、連携して今後地域のために何ができるかについて意見交換をしました。

9. モニタリングへの取り組み

「協定内容の履行を確保し、市民に対して質の高いサービスの提供を実現するため」に行われているモニタリングへの取り組みは、協定事業の遂行とともに、独自計画を付加した年度事業計画の効果的推進に役立っています。また、評価結果はこれを真摯に受け止め、スタッフで共有し、事業運営に活かしました。

10. 企画運営会議(八王子市民活動協議会が主催)

四半期毎に1回、モニタリング結果を参照しながら企画運営会議を開催しました。効果的な事業推進を討議し、市民活動を取り巻くニーズに対応した中長期的、未来志向的視点で支援センターの運営について協議しました。

11. 情報セキュリティ委員会

個人や団体の情報を預かる支援センターは、その情報の保護管理に大きな責任があるとの認識から、支援センター個人情報保護方針に基づき、情報セキュリティ委員会を定期的を開催しています。また、監査人による監査で適正な情報管理のチェックを受けると共に、スタッフを対象にした教育研修会を実施し、法令及び八王子市指定管理者における情報セキュリティガイドライン、支援センター情報セキュリティ管理マニュアル等の遵守を徹底しました。

12. 八王子市環境マネジメントシステムへの対応

八王子市役所環境マネジメントシステムへの対応として、それぞれの部門や事業が環境配慮行動に取り組むとともに、支援センターの特性である団体活動サポートや様々な事業を通して環境マネジメントに取り組んでいます。令和5年度は実践講座として「SDGs」を取り上げ、環境問題についても考える機会を持ちました。